

第7次の専門研究委員会は、この報告書を刊行することで2年にわたる活動を終えることになる。思い起こせば平成23年3月11日、我々にとって未曾有の災害である東日本大震災が発生した。

この大震災を契機に、埼玉協内で専門研が結成された。その内容は本文中でも述べているとおり、災害に対する備えと災害発生時の史料の救済である。本書で取り上げた防災・救済初期マニュアルは完璧なものではなく、一例を提示したにすぎない。防災にはまず、過去の災害を知ることが必要である。そのために過去の事例を紹介した。また、日頃の防災意識の向上を図るためにチェックリストを、そして、実際に災害が発生したときのために救済初期マニュアルを作成した。

実際に災害が発生すると、自治体職員は被災者対応に追われるだろう。その際に、例えばボランティアで史料を救済してくれる方々に活用してもらえば幸いである。

災害が起こってはならないが、万が一にも発生した場合には、ぜひとも本書のマニュアルを活用してもらえれば、専門研メンバーとしても本望であり、専門研活動を行った報いともなる。そして、改めて史料を扱うものとして、常に防災意識の向上につながればと思う。

最後になりましたが、2年間の活動を暖かく見守ってくださった各委員所属機関の皆様、ご協力をいただいた本会および全国の関係機関の皆様に感謝申し上げます。

平成26年3月

### 第7次専門研究委員会



最後の専門研での座長あいさつ（埼玉県立文書館）

---

---

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会設立 40 周年記念  
第 7 次専門研究委員会報告書

## 地域史料の防災対策

平成 26 年（2014）3 月 27 日印刷

平成 26 年（2014）3 月 31 日発行

編集 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会  
第 7 次専門研究委員会

発行 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会

事務局 さいたま市浦和区高砂 4-3-18

埼玉県立文書館内

電話 048-865-0112

印刷 華陽印刷株式会社

---

---